

この本の効果的な使い方

1 一週間の学習計画

各回を一週間で学習します。「むりなく・むらなく・むだなく」学習するために、一週間単位で自分なりの学習計画を立てましょう。

2 本書の構成と学習方法

各回の内容は、次のような構成になっています。

言語要素の学習

- ① ことば
『ジュニア予習シリーズ』に合わせて「ことば」の知識の学習をすることができます。
- ② 漢字
小学三年配当の漢字を学習することができます。

文章読解の学習

- ① 読解問題
文章内容を問う問題を解くことで、段階的に学習を進めることができます。また、五回ごとの「読んでみよう」では、少し長めの文章から起承転結を読み取り、主題を考えながら読む練習をすることができます。
- ② まとめ（巻末）
説明文・物語文を読解する際のポイントを学習することができます。

効果的な学習方法についてのアドバイス

1 言語要素の学習

さまざまな言葉に関する知識の学習です。覚えることが中心ですが、反復練習によって定着度を高めましょう。

2 文章読解の学習

問題を解くことで、文章読解の手順を学び、文章読解の学習を深めます。（文章読解の手順は、巻末の「まとめ」で学習することができます。）各回の読解問題は、問題を解くために文章を読むよう取り組み方はしないように注意しましょう。次のような順序で学習を進め、「教材」として活用してください。

- ① 文章をしっかり音読する 読めない漢字や意味のわからない言葉などをチェックして、まずは字面で「読める」「わかる」状態を目指します。
- ② 文章内容を正確に理解する ①でチェックした漢字や言葉の読み方、意味を確認しながら、文章全体を正確に理解します。
- ③ 問いに答えることで理解度を確認する 「問い」に対する「答え」そのもの、あるいは「答え」を導くヒントはすべて文章中にあります。《文章→設問→正解》を結び糸を発見するという文章読解問題を解く基本作業を通じて文章理解の度合いを確認します。
- ④ 『解答と解説』を読んで理解を深める 解説をヒントに考え直し、納得することが弱点克服の出発点です。

目次

第1回	漢字	五十音図・かなづかい	説明文(1)	4
第2回	漢字	擬声語・擬態語	説明文(2)	8
第3回	漢字	漢字の筆順	物語文(1)	12
第4回	漢字	辞書の引き方	物語文(2)	16
第5回	読んでみよう(1)			20
第6回	漢字	類義語・対義語	説明文(3)	26
第7回	漢字	指示語	説明文(4)	30
第8回	漢字	敬語	物語文(3)	34
第9回	漢字	部首	物語文(4)	38
第10回	読んでみよう(2)			42
第11回	漢字	呼応の副詞	説明文(5)	46
第12回	漢字	漢字の音と訓	説明文(6)	50
第13回	漢字	具体と抽象	物語文(5)	54
第14回	漢字	慣用句	物語文(6)	58
第15回	読んでみよう(3)			62
第16回	漢字	接続語	説明文(7)	66
第17回	漢字	主語・述語	説明文(8)	70
第18回	漢字	四字熟語	物語文(7)	74
第19回	漢字	ことわざ	物語文(8)	78
第20回	読んでみよう(4)			82
要点のまとめ				88
解答と解説				105
解答用紙				127

第1回

漢字



◆ 線部分を漢字に直し、□に書きましよう。
送りながが必要なときは、ひらがなで書きましよう。

① キョウカシヨを読む。

② オンガクを聞く。

③ ボールはまるい。

④ ゴゼンチュウに買い物に行く。

⑤ きいろい帽子をかぶる。

⑥ センシュウの火曜日は雨だった。

⑦ あたらしい服を着る。

⑧ キョウジャクをつけて歌う。

--	--	--	--	--	--	--	--

⑨ 冷たいかぜがふく。

⑩ リカの実験をする。

⑪ 規則正しいセイカツを送る。

⑫ キンヤに乗って旅をする。

⑬ コウエンのすべり台で遊ぶ。

⑭ 新学期がたのしみだ。

⑮ 宝くじがあたる。

⑯ 高田さんは二人シマイだ。

⑰ まちがいをなおす。

⑱ 今、なんジですか。

--	--	--	--	--	--	--	--	--

第1回

ことば

五十音図・かなづかい



問一 次のひらがなをカタカナに直し、正しい形で書きましよう。

- ① し
- ② そ
- ③ つ
- ④ ん

問二 次のカタカナをひらがなに直し、正しい形で書きましよう。

- ① ヌ
- ② ム
- ③ ユ
- ④ レ

問三 (1)～(4)について、かなづかいの正しい方の記号に○をつけましよう。

- (1) 手作り(ア てづくり) イ てずくり
- (2) 町中 (ア まちぢゆう) イ まちじゆう
- (3) 王子 (ア おおじ) イ おうじ
- (4) 間近 (ア まじか) イ まぢか

問四 (1)・(2)について、かなづかいの正しい方の記号に○をつけましよう。

- (1) 寒い日(ア つづいた) イ つづいた) が、ようやく春(ア 近づいて) イ 近づいて) きた。
- (2) ①(ア ひとりづつ) イ ひとりずつ)、みんなの前(ア おおきな) イ おうきな) 声(ア 発表する)。

問五 次の文の中で、かなづかいのまちがっているところを例にならって正しく直しましよう。

例 わたしの姉は中学生です。

◎ 花子(ア) わ、明日(ア) の天気(ア) が雨(ア) だ(ア) とゆうことお

ニユース(ア) で知(ア) り、まづ、はぢめ(ア) におり(ア) た(ア) たみ

が(ア) さ(ア) お(ア) ラ(ア) ン(ア) ド(ア) セ(ア) ル(ア) の(ア) 中(ア) に(ア) しま(ア) い(ア) ま(ア) した(ア) 。そし

て、長(ア) ぐ(ア) つ(ア) を(ア) は(ア) い(ア) て(ア) い(ア) こう(ア) と(ア) 考(ア) へ(ア) ま(ア) した(ア) 。

第
1
回

説
明
文

(1)

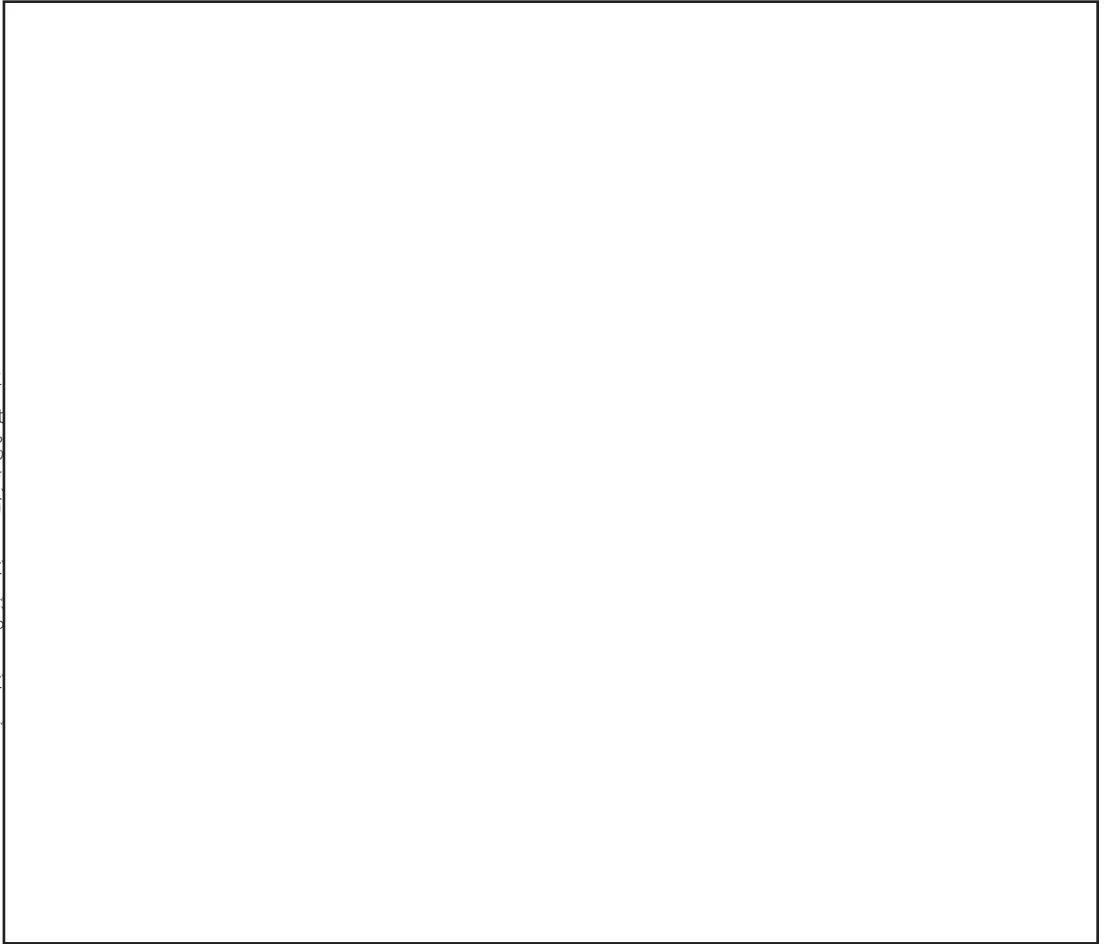
〜
動
物
と
道
具
〜



問一

文章中の①・②の()にあてはまる接続語をそれぞれ一つずつ選び、○でかこみましよう。

(香原志勢「動物と道具」より)



問二

人間とほかの動物とのちがいについて、次の①～③の考えは正しいですか。それとも正しくありませんか。()の中からあてはまる方を選び、○でかこみましよう。また、その理由となる例を、後の①～④からすべて選び、記号で答えましよう。

①人間だけが道具を使う動物である。

↓(正しい・正しくない) 例()

②人間だけが道具を作る動物である。

↓(正しい・正しくない) 例()

③人間だけが道具を作るための道具を作る動物である。

↓(正しい・正しくない) 例()

① エジプトハゲワシが石をダチョウのたまごにつけてわって食べる。

② 野生のチンパンジーが木のえだをおってはっぱをむしり取り、シロアリをつって食べる。

③ 実験用のチンパンジーが二本のぼうをつないで高いところにあるバナナを取る。

④ 石の道具で、かりに使うぼうを作る。

⑤ ラッコが貝を石につけて中身を取り出して食べる。



接続語（つなぎ言葉）とは？

「言葉と言葉」「文と文」「段落と段落」をつなぐ働きをもった言葉を「**接続語**」といいます。



接続語の種類と働き

(1) **順接**（前が原因や理由、後がその順当な結果や結論である関係をつなぐ。）

だから・したがって・それで・そこで・すると・そのため

(2) **逆接**（前のことに対して、後が反対になる関係をつなぐ。）

しかし・けれども・ところが・だが・でも・が

(3) **並立**（前のことと後のことがらを同列に並べる。）

また・および・ならびに・かつ

(4) **添加**（前のことさらに、後のことを付け加える。）

さらに・そのうえ・しかも・そして・それに

(5) **選択**（前のことと、後のことのどちらかを選ぶ。）

または・あるいは・それとも・もしくは

(6) **転換**（前のことからの話題をかえる。）

(7) **説明**（前のことについてくわしく説明したり、補ったりする。）

換言・要約（前のことを言い換えたり、まとめたりする。）

すなわち・つまり・要するに

補足（前のことを補って説明する。）

ただし・なお

例示（前のことに対して、例をあげて説明する。）

たとえば

理由・原因（前のことに対する理由・原因を述べる。）

なぜなら・というのは





指示語（こそあど言葉）とは？

ものごとや場所、方向、様子などを、その名前を使わないで、じかに指し示す言葉です。

ここは、アフリカの草原です。今その草原を、あちらから動物たちが走ってきました。たくさんのシマウマの群れです。シマウマたちがライオンに追いかけていらるのです。
このあとシマウマたちは、どこへ行くのでしよう。いったい、どうなるのでしよう。

右の文章中の、「ここ」「その」「あちら」「この」「どこ」「どう」などの言葉を「指示語」といいます。これらは、頭に「こ・そ・あ・ど」がつくところから「こそあど言葉」ともいわれます。



指示語の読み取り方の手順

- 指示語の後ろの部分に注目し、指す内容のヒントをつかむ。

- そのヒントをもとに、指示語の内容をたずねる
- 問いかけの文を作り、その答えにあたる部分を前の方に順にさかのぼってさがす。
- 答えにあたる内容が見つかったら、その部分をうまくあてはまる表現に変え、指示語の代わりに入れてみて、意味のうえでも言葉のうえでもつながらるかどうかを確かめる。

◆ 次の文章中の「これ」の内容を読み取りましょう。

バナナを切ったら、よく見てください。バナナの切り口には、黒い小さなつぶのようなものがたくさんあります。じつは、これがバナナの種のアトなのです。

↓
これ

…バナナの切り口にたくさんある黒い小さなつぶのようなもの